

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東  
 コード番号 9996 URL http://www.satoh-web.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 忠利 (TEL) 022-236-5600  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,296	3.2	302	6.8	373	10.3	255	13.3
29年3月期第1四半期	11,917	1.5	282	21.2	338	14.4	225	17.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 280百万円(2.6%) 29年3月期第1四半期 273百万円(32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	28.56	—
29年3月期第1四半期	25.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	30,641	21,311	69.6
29年3月期	30,294	21,165	69.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 21,311百万円 29年3月期 21,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,350	1.5	605	△7.3	713	△4.7	480	△3.7	53.69
通期	49,450	1.9	1,320	△3.9	1,510	△4.8	1,090	13.0	121.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	9,152,640株	29年3月期	9,152,640株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	211,657株	29年3月期	211,657株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	8,940,983株	29年3月期1Q	8,941,196株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀による継続的な経済・金融政策の効果もあり、企業収益や雇用環境の改善が進み、総じて景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米国の政策運営や欧州の政治情勢等の影響、地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する食品業界では、企業収益の回復により雇用・所得環境に改善が見られるものの、家計の可処分所得の伸び悩みや将来に対する不安感から、消費者の節約志向、低価格志向は依然として根強く、環境は引き続き厳しいものと認識しております。

このような経営環境のもと当社グループは、お客様が商売を行っている環境の変化を的確に捉えるためには、全社員がお客様と同じ目線で共に考え・行動し「現場と現実を直視する」ことが重要であると認識しております。お客様の本質的な課題を追求して、具体的な対策・施策を提案する事は、今年度の経営方針であります「お客様の商売繁盛に貢献する」に繋がるものと考えております。そのために、当社の強みである業種別の専門性を追求し、更には業種の枠を越えた総合力で支援して、お客様の期待に真剣に応えてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、新規お客様の獲得や付加価値の高い「J F S A」ブランドを初めとして、提案商品の見直しを行った事により納品アイテムの増加に繋がり、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は122億96百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益は3億2百万円(同6.8%増)、経常利益は3億73百万円(同10.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億55百万円(同13.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び北関東エリアの新規お客様の開拓、既存お客様への更なる深耕を行うために、業種、業態の枠を越えた人手不足対策商品、省力化商品の提案会を地域毎に開催するなど、総合力で営業活動に取り組んでおります。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心に人手不足対策商品、省力化商品とあわせて、お客様の現場で必ず使用される基本商品の品揃えの強化に取り組み、同業者との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高108億49百万円(前年同四半期比3.1%増)、セグメント利益(営業利益)は3億69百万円(同2.4%減)となりました。

小売業部門におきましては、主要顧客であります中小飲食店様の商売繁盛へ貢献するために、宮城、岩手、福島地区の各店舗において展示即売会を開催し、仕入利便性向上に役立つ商品の提案を実施いたしました。また、卸売業部門と連携し、「J F S A」ブランドを初めとして、付加価値の高い商品の販促と専門性の高い品揃えの充実を図り、新規お客様の獲得に注力いたしました。これらの諸施策により主要顧客であります中小飲食店会員様の来店数、客単価共に増加し、既存店における会員様に対する売上高は前年同四半期比で4.4%増加いたしました。

この結果、前期に出店した会津若松店の影響もあり、売上高14億46百万円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は76百万円(同28.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億46百万円増加し、306億41百万円となりました。これは主に、有価証券の増加によるものであります。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ2億円増加し、93億29百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金並びに賞与引当金の増加によるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億46百万円増加し、213億11百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.6%(前連結会計年度末69.9%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,096,027	1,017,878
受取手形及び売掛金	5,493,506	5,645,568
有価証券	7,800,000	8,250,765
商品	2,276,653	2,232,260
その他	563,896	451,821
貸倒引当金	△2,557	△1,906
流動資産合計	17,227,526	17,596,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,531,952	1,511,344
土地	3,594,624	3,594,624
その他(純額)	352,222	342,064
有形固定資産合計	5,478,799	5,448,034
無形固定資産		
	71,287	69,166
投資その他の資産		
投資有価証券	6,154,805	6,185,467
その他	1,368,279	1,350,649
貸倒引当金	△5,884	△8,328
投資その他の資産合計	7,517,200	7,527,788
固定資産合計	13,067,287	13,044,989
資産合計	30,294,814	30,641,378
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,956,751	7,105,591
短期借入金	595,000	563,000
未払法人税等	274,300	163,700
賞与引当金	307,582	497,277
その他	705,837	741,571
流動負債合計	8,839,470	9,071,139
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,178	175,719
退職給付に係る負債	26,608	28,337
資産除去債務	32,212	32,240
その他	22,130	22,422
固定負債合計	290,129	258,719
負債合計	9,129,600	9,329,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	18,448,432	18,569,637
自己株式	△188,212	△188,212
株主資本合計	21,107,736	21,228,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,790	102,878
退職給付に係る調整累計額	△25,312	△20,301
その他の包括利益累計額合計	57,477	82,576
純資産合計	21,165,214	21,311,519
負債純資産合計	30,294,814	30,641,378

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,917,087	12,296,806
売上原価	9,795,417	10,117,409
売上総利益	2,121,670	2,179,397
販売費及び一般管理費	1,838,743	1,877,307
営業利益	282,927	302,089
営業外収益		
受取利息	30,835	32,777
受取配当金	4,036	17,977
持分法による投資利益	7,740	6,589
受取賃貸料	13,275	12,553
その他	3,909	5,554
営業外収益合計	59,796	75,451
営業外費用		
支払利息	651	512
賃貸収入原価	3,091	3,030
営業外費用合計	3,742	3,543
経常利益	338,981	373,998
特別利益		
固定資産売却益	153	—
特別利益合計	153	—
特別損失		
固定資産除却損	3,939	569
特別損失合計	3,939	569
税金等調整前四半期純利益	335,195	373,428
法人税、住民税及び事業税	168,067	163,130
法人税等調整額	△58,137	△45,022
法人税等合計	109,929	118,107
四半期純利益	225,265	255,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,265	255,320

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	225,265	255,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,870	20,088
退職給付に係る調整額	5,047	5,010
その他の包括利益合計	47,918	25,099
四半期包括利益	273,183	280,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,183	280,419
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,525,572	1,391,515	11,917,087	—	11,917,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,525,572	1,391,515	11,917,087	—	11,917,087
セグメント利益	378,243	59,032	437,276	△154,348	282,927

(注) 1. セグメント利益の調整額△154,348千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,849,882	1,446,924	12,296,806	—	12,296,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,849,882	1,446,924	12,296,806	—	12,296,806
セグメント利益	369,122	76,028	445,150	△143,060	302,089

(注) 1. セグメント利益の調整額△143,060千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。